

令和4年度 東京都《実年》ソフトボール大会 実施要項

競技規則	2022年度日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び大会特別ルールによる。
競技方法	トーナメント方式7回戦・70分とする（65分経過後は次のイニングに入らない）
表彰	優勝チーム：優勝旗、優勝杯、賞状、楯を授与する。（優勝旗、優勝杯は持ち回り） 準優勝チーム：準優勝杯、賞状、楯を授与する。（準優勝杯は持ち回り） 3位チーム：賞状、楯を授与する。（3位決定戦は行わないので2チーム） 優勝チームには令和4年度の全日本実年ソフトボール大会への出場権を与える。 準優勝チームには翌年度の東日本実年ソフトボール大会への出場権を与える。
参加資格	・令和4年度東京都ソフトボール協会および日本ソフトボール協会にチームおよび個人が加盟登録した実年チームに限る。 ②全日本実年ソフトボール大会予選会であることから、上記条件を満たしていないチームの参加は認めない。 ・チーム内に指導者の有資格者がいること。 ・令和4年4月1日現在で満50歳以上の男子選手で編成したチームとする。
登録者数	監督、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー、選手25名以内とする。但し、監督・コーチ・スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。 ②参加申込み以後の登録選手の変更は認めない。
打順表の提出	第一試合は試合開始20分前、以後は30分前に提出すること。 打順表は所定用紙で提出し記載のない選手は出場できない。
ベンチ	組合せ番号の若いチームを一塁側とする。 投球練習（1組のみとし、キャッチャーは外野側）以外はベンチから出られない。
先攻・後攻	監督または主将のコイントスで決める。
コールドゲーム	2022年度オフィシャルルールを採用する。（3回15点、4回10点、5回7点差以上）
延長戦	時間内のタイブレーカーは認めるが、勝負が決しない場合は抽選とする。
決勝戦	7回戦・90分とし、勝負が決しない場合は即タイブレーカーを適用し試合を決着する。
日没・降雨等	日没・降雨等により試合続行が不可能となった場合は、大会本部で決定するが、その際3回完了をもって試合成立とし、サスペンデッドゲームは採用しない。
抗議	監督以外は認めない。
大会特別ルール	試合開始前に審判員より説明する
感染予防対策	後日送付の『新規コロナウイルス感染予防対策ガイドライン』に従い、「体調管理チェックシート」を用いて体調状態を記載し、試合日ごとに毎回提出のこと。
その他	・故意四球を採用する。 ・フィールディングは省略する。 ・捕手はスロートガード付マスク、両耳ヘルメット、レガース、ボディプロテクターを着用する。 ・打者、走者及び1塁、3塁コーチは両耳ヘルメットを着用すること。 ・金属製及びセラミック製スパイクは禁止する。 ・競技中の怪我に対して応急処置を施すが、通院等に対しては都ソ協が加入する傷害保険の適用範囲内で補償を行う。 ・競技場内の指定駐車場で駐車、停車中の車両に競技中のボールが誤って当たり、車両を破損させた場合の補償については都ソ協が加入する賠償保険の範囲内で対応し、開催支部では一切の責任は負わない。 ・健康保険証又は既往病のある方は診察券を持参する。 ・出場者は、免許証等の年齢を証明できるものを持参すること。